先着限定 20 名

さいせい㈱からの緊急提案です！

中小企業金融円滑化法は使えない！？

という社長様、でも実際に申込者は増えています。

この中小企業金融円滑化法を、うまく活用すれば

わが社の経営改善が図れます。

今回のセミナーでは、無料でその方法をお教えします。

都合があり、当日セミナーに参加できない方には、個別に借入金返済の条件変更等の相談に応じます（初回相談は無料）。ご希望の方は、下部の申込シートにメールアドレスをご記入の上、FAXにてお申込下さい。

	テーマ・タイトル
第1講	**「中小企業金融円滑化法はこう使え！」**<18:30～19:30> **【講義のポイント】** ■ 銀行に条件変更を持ち込むタイミングは？断られることもある？ ■ これからの信用はどうなる？新規融資は？もう借りられない？ **【講　師】** **石橋研一（いしばしけんいち）**（さいせい㈱取締役、税理士、中小企業診断士） 大阪大学経済学部卒業、大手都市銀行に勤めた後、金融機関との交渉アドバイス、返済条件変更の等数多く従事し、豊富な経験とノウハウを持つ。多くの企業に対しコンサルティングを行っている。
第2講	**「銀行が納得する経営改善計画はこう作れ！」**<19:40～20:40> **【講義のポイント】** ■ 計画は銀行が一緒に作ってくれると聞いたが？本当ですか？ ■ 条件変更の１年後が大変ってどういうこと？計画未達の場合は？ **【講　師】** **島ノ内英久（しまのうちひでひさ）**（さいせい㈱取締役、中小企業診断士） 九州大学大学院工学修士課程修了、ヤンマー㈱勤務後、外資系コンサルティング会社に移籍。金融機関からの信用格付けの向上を図る「経営改善計画」作成等、多くのコンサルティングを行っている。 ◆著書:**『社長！こうすれば会社のお金はもっと借りられます』** （総合法令出版）

危機しのげるか
関西中小
薄明かりの中で（中）

「1年前と比べると、金融機関の態度が全然違った」。昨年12月に施行された中小企業金融円滑化法で、融資の返済条件の見直しにこぎ着けた大阪市内のサービス業社長は安堵（あんど）する。業績悪化で資金繰りが厳しくなったが、当面は元金返済を凍結して利息の支払いだけとなった。

1年前に債務繰り延べを要請した際は、渋る8つの取引行の説得に半年かかった。今回は事業再生会社、さいせい（大阪市、真造豊久社長）の支援でまとめた経営改善計画を提出、すんなり繰り延べ延長が認められた。

円滑化法は、資金繰りに苦しむ中小企業が借入金の返済条件の変更を求めた際に金融機関に積極的に応じるよう求めた法律。拒絶する場合、金融機関は金融庁に理由を報告しなければならない。

1万件超申請

大阪銀行協会などと連携して円滑化法利用の指導にあたっている大阪商工会議所には23日までに中小企業から55件の相談があったという。近畿財務局によると、2010年1月末時点で関西2府4県の中小の申し込み件数は1万8442件（速報ベース）。変更を実行したのは4628件で、拒絶は17件にとどまる。

「従来より条件変更を受け入れてもらいやすくなった」とさいせいと大商は口をそろえる。

円滑化法、利用手探り

借入先多く 手続き時間

それでも利用は手探りの面もある。関西の中小経営者は、特定の金融機関に経営の主導権を握られるのを嫌がり、「取引金融機関が他地域より多い」（大阪府中小企業再生支援協議会）。このため「1行だけの取引なら、資料がそろえば最短2～3日で済む」（大阪府の地銀）条件変更に手間取ることも多い。

「時間がかかり苦労した」。さいせいが支援した奈良市の建設会社は、経営者自らの貯金を取り崩すほど資金繰りに行き詰まった。円滑化法利用を申し込んだが、取引行5行から同意を取るのに約1カ月かかった。大商でも複数の取引行の調整に中小企業診断士が立ち会っている案件がある。

既存の融資の借り換えに円滑化法を利用した八尾市の機械メーカー社長は「本当にカネが必要な中小にはあまり流れていないのでは」と首をひねる。業績は堅調で資金繰りに苦しんだ経験はない。利用は複数の金融機関から持ちかけられたという。通常の融資よりも長期かつ低金利で借りられる「条件変更」が盛り込まれていた。

「心証が心配」

近畿財務局が発表した10年1～3月の法人企業景気予測調査によると、資金繰りが前四半期より「改善した」と回答した企業の割合から「悪化した」を引いて算出する指数（BSI）は5ポイント改善した。ただ円滑化法施行前に調査した09年10～12月期もその前の四半期に比べ3・9ポイント改善しており、円滑化法の効果は見定めにくい。

中小の間では「金融機関の心証が悪くなるのでは、と考えると使いにくい」（東大阪の自動車部品メーカー社長）と、依然利用に慎重な考えも根強い。一方、金融機関側は「モラルハザード（倫理の欠如）としか思えない案件[illegible]のままだと[illegible]の貸し倒れが発[illegible]では」（ともに大手銀[illegible]）と懸念する。

さいせいの真造社長は「円滑化法は金融機関側も勝手がわからない部分もある。中小も過度な期待はしない方がいい」と指摘する。

関西の中小企業の資金繰り判断指数（BSI）（近畿財務局法人企業景気予測調査）

大阪商工会議所には、円滑化法利用の相談が23日までに55件あった（大阪市）

日経新聞（3.25 朝刊）で、当社の企業支援事例が紹介されています。
詳しくはホームページで！

さいせい　**検索**

★日　時：平成２２年 ４月１２日（月）１８：３０～２０：４０
★会　場：大阪産業創造館　６F 会議室Ａ　大阪市中央区本町 1-4-5
TEL 06-6264-9800（地下鉄中央線、堺筋線「堺筋本町駅」徒歩５分）
★定　員：２０名　★料　金：無　料
★主　催：さいせい株式会社（TEL：06－6809－3171　担当：西尾）

＜お申込書＞　FAX　06－6809－3172 **（担当:西尾）**

フリガナ		フリガナ	
会社名		参加者氏名	
住　所	〒	参加者部署 お 役 職	
TEL	Eメール	■個別　経営相談を希望する する ・ しない（Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ記入必須）	

さいせい株式会社

http://www.saisei-firm.co.jp/